

# 令和2年度 学校評価書

静岡市立清水桜が丘高等学校

## I 経営の重点に関わること

(評価 A:十分効果を上げた B:効果を上げた C:効果が上がらなかった)

1 学校教育目標 自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。		自己評価	学校関係者評価委員から	
2 重点目標	(1) 心身の健康、豊かな人間性と規範意識の育成	<p>①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合 75% 【学校説明】【学校説明】できる場面とできない場面がある。また、学科によっても違いがあるように感じる。(生徒アンケートで「非常にそう思う」「そう思う」と答えた生徒 81.5% 以下の項目も同じ)</p> <p>②ルール、マナーに気を付けていると答える生徒の割合 90% 【学校説明】前年度に比べ微増したが、交通マナーや電車内のマナーについて指摘を受けることもある。(92.8%)</p> <p>③問題行動等件数、交通事故件数が前年度に比べ減少する。 【学校説明】問題行動等発生件数は減少した。交通事故件数は前年度に比べ若干増えたが、大きな事故は減少している。違反の数は前年度よりも減った。</p> <p>④自分に良いところがあると答える生徒の割合 65% 【学校説明】前年度に比べて 4.2 ポイント増加した。(70.2%)</p> <p>⑤1カ月に1冊以上の読書をする生徒の割合 60% 【学校説明】昨年より 12 ポイントも減少した。(3年を除く1, 2学年では 51% 記録カードより)</p> <p>⑥学校が楽しいと答える生徒の割合 75% 【学校説明】コロナ禍で学校生活への適応が心配されたが、昨年より 4.5 ポイント増加した。(75.6%)しかしながら、今後も生徒の様子を注視していきたい。</p>	A	A
	(2) 知識・技能にとどまらない幅広い学力の育成と進路希望の実現	<p>①授業の内容が分かってと答える生徒の割合 50% 【学校説明】前年に比べて 5 ポイント増加し、目標を達成した(55.9%)。35.4%存在する「どちらともいえない」生徒を引き上げたい。</p> <p>②アクティブラーニング型の授業を実践している教師の割合 85% 【学校説明】アクティブラーニングが大分浸透しており、様々な工夫が見られる。</p> <p>③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合 40% 【学校説明】前年度に比べ 9 ポイント増と大きく増加した。評価方法や入試への対応ができるのかなどが今後の課題である。(48.9%)</p> <p>④ICTを活用した授業を受けていると答える生徒の割合 75% 【学校説明】前年度より増加した(72.8%)。休校期間中も ICT 機器を通して課題等に取り組む場面があった。</p> <p>⑤3年間を見通した進路指導計画の作成と学習時間・進路希望調査等のデータの活用。 【学校説明】ある程度の学習時間は確保されているようだが、成績向上のために、少しずつ家庭学習時間を増やしていきたい。文理選択や進路希望等の結果から、現状を把握し、具体的な指導につながるよう呼び掛けていきたい</p> <p>⑥進学希望者の進路希望(3年当初)の達成率50%以上、県内国公立大学合格10人以上を実現する。 【学校説明】国公立大学 3年4月進路希望調査 普通科 42人希望 27人合格 商業科 9名希望 4名合格</p> <p>⑦就職希望者の就職決定率100%を継続する。 【学校説明】就職希望者全員の就職決定(100%達成)</p> <p>⑧進路指導計画に目標として示す資格を取得した生徒の割合 80% 【学校説明】簿記2級 19.8%(6月検定を受験できなかった)、情報処理2級 74.4%(以上2年)、簿記3級(99.2%)、情報処理100%(以上1年)</p> <p>⑨訪問受入、外国客船歓迎等国際交流活動の実施 【学校説明】新型コロナウイルス感染拡大の影響ですべての国際交流活動は中止となった。</p>	B	B
(3) 基礎的汎用的能力を中心とする能力や態度を育成するキャリア教育の推進	①主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合 65% 【学校説明】前年度に比べ大きく(9ポイント)増加した。(68.8%)	②挑戦していることがあると答える生徒の割合 70% 【学校説明】前年度に比べ増加した(71.7%)。コロナ感染防止対策のため、多くの行事が中止となる中、コロナ川柳やフードドライブへの協力など、コロナ禍であるからこそそのチャレンジが行われた。 ③さくらチャレンジサポート事業を利用する生徒数が30個人以上となる。 【学校説明】今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校外での活動ができず、ほとんど活用することができなかった。 ④複数の部活動が東海大会、全国大会に出場する。 【学校説明】今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、部活動に制限があり多くの大会が中止されたり、規模が縮小されたりした。報道部と吹奏楽部がWEBでの全国高総文祭に出場した。ワープロ部がONLINEでの全国パソコン技能競技会(英文スピード競技)で優勝した。 ⑤商業、家庭科、総合的な探究(学習)の時間、部活動を軸に、地域・社会と連携した活動を推進する。 【学校説明】静岡大学・JA・清水エスパルス・鈴木・岡生涯学習交流館をはじめ、多くの外部人材に授業や行事に参加していただいた。将来の職業選択につながる取組を早い時期から実施していきたい。 ⑥総合的な探究(学習)の時間において探究的な活動を充実させる。 【学校説明】「シチズンシップ学習」「ファシリテーション講座」など、本校の特色と関連した探究学習が行えた。地域が抱える問題や解決に向けて取り組む姿勢を促していきたい。	B	B
	⑦新しい生活様式での工夫やチャレンジができたと思います。 ・昨年とは違い、コロナの影響で多くの御油厄が中止になったことにより、さくらチャレンジサポートの利用が激減、仕方がない。しかし、外部との交流により、地域、社会の活動に参加されていることは非常に喜ばしいこと。 ・②挑戦という言葉は意欲を感じます。 ・部活動で報道部と吹奏楽部が全国大会に出場したことは大きく評価していると思います。 ・地域と連携した活動は昨年に続き、推進できたと思います。			
(4) 市民の信頼に応える学校経営の推進	①信頼できる先生がいると答える生徒の割合 70% 【学校説明】前年度に比べて6ポイント増加した。(60.3%)しかし、目標の70%には程遠い。	②HPや配布物等により、学校の様子がよく分かってと答える保護者の割合 70% 【学校説明】前年度に比べて微減した。(67.2%) ③学校通信の地域回覧 【学校説明】新聞部が作成した「清桜新聞」を自治会で回覧してもらった。 ④地域主体の避難所運営計画を作成し、避難所運営訓練に協力をする。 【学校説明】避難所運営ガイドブック(清水桜が丘高等学校、岡生涯学習交流館)説明会に参加した。 ⑤令和2年度入学者選抜において定員を上回る志願者を確保する。 【学校説明】普通科では25人志願者が定員を上回ったが、商業科では14人定員に届かなかった。	B	B
	⑥今後も地域との共存共栄に取り組んでください。 ・①はさらに増加することを期待しています。 ・③「清桜新聞」を自治会で回覧するなど、学校の様子がよく分かってと答える保護者の割合 70% ・学校の情事が配布物や新聞等で市民に知らされており、学校の様子がよくわかっている。2年間に渡り、避難所運営計画は地域と一体となり、大いに評価したい。			
(5) 働き方改革	①模試監督、放課後学習会監督等における保護者等の活用、講習等における外部講師導入を推進する。 【学校説明】放課後学習監督については、定着してきていて、本年度も3名の保護者の協力していただいた。また、地元企業を中心に多方面から多くの講師を招聘してワークショップ(オンラインを含む)を開催した。 ②クラッシーにより代替できる業務を確認する。 【学校説明】アンケートや勉強時間調査、テスト結果や学習動画の配信など、職員の利用範囲が広がった。休校期間中には生徒とのコミュニケーションツールとして活用できた。	B	B	

II 各指導部・領域に関わること

(評価 A:十分効果を上げた B:効果を上げた C:効果が上がらなかった)

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員から
1 教育課程・学習指導	(1) 確かな学力の定着 【市共通項目1】	①基礎基本の徹底と学習の習慣化を図るとともに、ICTの活用などによるわかりやすい授業を実施する。 ②総合的な探究(学習)の時間を活用して、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ③「職場体験学習」「外部講師による講座」をはじめ、実社会との連携による教育活動を推進する。 【学校説明】ICTの活用はほぼ100%浸透している。ただ、それが生徒の知識・技能の定着や向上につながっているか検証が必要である。外部人材の積極的な活用とシチズンシップの成果を発表する機会を設けることができた。今後は新学習指導要領に沿った指導・評価のあり方を学校全体で取り組む必要がある。	A	A ・よくわかる授業を目指して取り組んでおられます。 ・(2)①②のいたわりや奉仕の心を育てて、命の大切さを生徒たちに感じとってほしい。 ・ICTの活用が100%達成しておりよいと思う。 ・特別活動の充実で「岡フェス2020」では感染症対策を十分考えての開催は生徒に達成感を与えたことは大変に良かったと思う。
	(2) 道徳教育の充実 【市共通項目2】	①「道徳教育の全体計画」を周知し、各教科、科目において道徳教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。 ②命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕の心を養うため社会貢献活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。 ③規範意識、マナー、生活態度等の指導に職員全体で取り組むとともに、望ましい姿勢について生徒自身に考えさせる機会を作る。 【学校説明】福祉講座や障がい者競技の体験を通して、いたわりや奉仕の心を養う教育に取り組んだ。また、部活動や委員会が地域とのつながりを深める交流活動やボランティア活動を行った。	A	
	(3) 特別活動の充実 【市共通項目3】	①さまざまな学校行事を通して、生徒の自主性や主体性を育み、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。 ②修学旅行や海外語学研修のプログラムを充実させ、国際理解教育の推進を図る。 【学校説明】12月に岡生涯学習交流館と清水ロータリークラブとの共催で開催した「清水岡フェス2020」では感染対策を万全にした上で工夫を凝らした展示や販売を実施し、生徒は達成感や充実感を得ることができた。コロナ禍の影響で、台湾への修学旅行、海外語学研修は中止となった。	B	
2 生徒指導	(1) 一人ひとりを大切に にした指導 【市共通項目4】	①普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一対一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、個々に適した対応を心掛けるとともに、心の交流を図る。 ②学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を効果的に活用し、支援が必要な生徒に対して適切に対応する。 【学校説明】コロナウイルス感染に関する誹謗中傷や差別という観点から、人権教育に関する伝達講習を職員向けに実施した。SC、SSWrと学年部との連携が円滑に進むように教育相談体制の充実を図った。緊急的な問題にはケース会議を開いて情報の共有を図っている。	A	A ・多様性(ダイバーシティ)に関する教育もお願いします。 ・まさに人権教育だと思います。まず、指導者として襟を正すことが重要だと思います。 ・いじめの未然防止に職員と生徒・保護者が積極的に対応している(研修会や啓発活動)ことは評価できる。
	(2) 校内のいじめ対策組織の運営の適正 【市共通項目11】	①「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知し、共通理解のもとに対処する。 ②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする。 【学校説明】年2回のいじめアンケート実施後、記述のあった生徒には個々に事情を聴くなど対応した。	A	
	(3) いじめの早期発見、状況把握と対応の適切化 【市共通項目12】	①年2回実施している「いじめアンケート」の内容を、より実態が把握できるように見直す。また、事後の対応を相談室と連携して行う。 ②教育相談体制を整備し、生徒・保護者がいじめを訴えやすい環境を整え、実態把握に努める。 【学校説明】保健室や相談室は生徒が入りやすい配慮がしてある。クラッシャーを用いて常に生徒とコミュニケーションを図っている職員は、生徒の細かな変化に気づき、早めの声掛けができるようになった。	A	
	(4) いじめの再発防止に向けた取組 【市共通項目13】	職員を対象として、いじめの未然防止に向けた取組に関する研修会を行う。また、生徒に対しては生徒会主催の啓発活動を行う。 【学校説明】職員に対しては「ユニバーサルデザイン」の研修会を実施した。生徒に対しては風紀委員会・保健委員会がプレゼンテーションにより啓発活動を行った。	A	
3 進路指導	一人ひとりの進路の実現	①生徒の進路希望や生活の様子を把握し、適切な学習支援・助言を行う。 ②講習や模擬試験等を通じて、学力向上や検定取得を目指す。 ③進路意識を高める行事を企画する。(大学見学・模擬授業・職場体験学習・講演会等) 【学校説明】学年や進路課の主催する講習や行事を計画的に実施した。生徒の進路に対する意欲を高める工夫が必要。	A	A 学校教育は「進路指導」といわれています。推進してください。
4 安全管理・指導	学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導(登校指導)等で周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。 ②「学校安全計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚に努める。 【学校説明】コロナの感染拡大防止のために、学年ごとに区切った避難訓練を行わざるを得なかった。生徒と職員が街頭に出て行う登校指導(挨拶指導)は継続している。	A	A ・他者の事故について当事者意識を持たせることが重要・安全教育の重要性を感じます。 ・交通安全や防災避難訓練は日ごろの意識高揚が重要。よくできていると思う。
5 保健管理・指導	健康教育の充実 【市共通項目6】	①生徒自らが健康管理を行い、規則正しい生活習慣を身につけられるよう適切な指導をする。また、学校事故等の防止に努め、定期的に害虫駆除を実施するなど、環境衛生にも配慮する。 ②校内救急体制を迅速に実行できるようにする。 ③健康診断の結果、要治療の生徒には積極的に受診を促す。 【学校説明】5月下旬に保健委員会が休校期間中の生活習慣、抱えている不安などについて全校アンケートを行った。生活習慣についての改善呼びかけたり、不安な気持ちを生徒間で共有することが出来た。新型コロナウイルスの影響で10月にすべての健康診断が終わった。感染が広がる中、受診控えもみられるのか、受診控え例年よりも低い状況である。	B	B コロナ対策に加え、健康教育の重要性を感じます。
6 特別支援教育	学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①教育相談に関わる研修を計画的に行う。 ②特別支援の必要な生徒の把握に努めるとともに、必要に応じた支援や合理的配慮を行う。 ③個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画等の作成を推進する。 ④スクールソーシャルワーカーの活用方法の研究と実践に努める。 【学校説明】SC、SSWrと学年部との連携が円滑に進むように教育相談体制の充実を図った。養護教諭との連携の中で、医療機関の紹介や外部関係機関との連携を図ることもできた。相談日を増やすための予算を確保が課題である。	A	A SC、SSWなどの力を借りることも重要です。養護教諭との連携もさらに進めてください。
7 組織運営	組織・運営の改善 【市共通項目8】 時間管理の徹底	日課や朝学習等を工夫するなどして、職員の最終退出時刻が午後9時以降になる日数を昨年度よりも少なくする。 【学校説明】コロナ禍で休校時など定時退勤の励行や、1月の緊急事態宣言下において、20時以降の不要不急の外出自粛などの影響もあり、昨年度よりは最終退出時刻が9時以降になる日数は減少した。	B	B ・一般の会社等では考えられない午後9時以降の改善の余地はないものかと思う。
	組織・運営の改善 【市共通項目8】 事務業務の軽減	クラッシャーなどの教育支援ツールやICT機器により、職員の負担を軽減する。 【学校説明】保護者アンケートや学習時間調査、生徒とのコミュニケーションツールとしてクラッシャーを利用することが浸透してきた。ただ、担任やクラッシャーを積極的に取り入れよとする教員とそうでない教員で活用に温度差がある。ZOOM、Googleクラスルームなども同様であり、活用の仕方や使い方研修などが期待される。	B	
8 研修	研修体制の充実 【市共通項目9】	①校内研修テーマ(アクティブラーニング研究)に沿った研修会を前期・後期年2回定期的に実施する。 ②授業公開週間を前期・後期年2回、3週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握に努める。 ③各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。 【学校説明】計画通り実施した。アクティブラーニングの授業公開では校内外の教員の積極的な参観があった。	A	A ZOOM、GOOGLEクラスルームの教員の温度差をなくしたい。
9 保護者・地域の住民	信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的にHPの情報を更新する。 ②学校行事を保護者や地域住民にも案内し、本校の教育活動に理解と協力を求めるとともに、本校の持つ教育機能を広く地域社会に還元する。地域防災や、ボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ③PTA総会・地区PTAを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。また、PTA広報紙では同窓会の活動の様子を保護者に発信する。 ④中学生やその保護者に授業を公開する。 【学校説明】学校案内・PTA広報紙は計画通り発行した。対面での総会が難しい状況の中、PTA本部役員と話し合いを重ねながら、書面総会の円滑な準備・実施ができた。オープンスクールは当初の予定を変更して9月と10月実施した。来校者が密にならないよう参加者を限定するなどの工夫をし、円滑な運営ができた。	A	A 今年度は地区役員の選出ができず、PTA役員活動も制限されてしまい、生徒の様子をうかがうことができなかった。清桜祭等で、生徒と保護者の交流ができることがあれば検討したい。 社会的に最も重要な事柄です。まず保護者も同じ方向を向くことだと思います。良い方向に行っていることと思います。
10 施設設備	教育施設設備の充実と安全管理	施設・設備、用具・器具は日常的に点検を実施し、安全の確保を図る。 【学校説明】職員安全衛生委員会を毎月開催し、危険箇所等について点検を行った。指摘箇所については速やかに事務と相談し安全対策を行った。用務員による点検は定期的に行われている。	A	A 日常の点検が重要と思います。